



▼/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/ *▼*/

明日から使える!? 商売繁盛のヒント

サービスコンテンツプランナー 小島章裕

《 vol.42 》

[店舗間コーディネート]

大型ショッピングセンターの専門店街に欲しい!

「あの店のジャケットとこのお店のパンツと合わせたら…」
「この帽子とあそこに置いてあったリュックはピッタリ？」
大型ショッピングセンターの専門店街へ行くと、頭の中でこんな想像をして“疑似コーディネート”をします。同じ建物内とはいえ、専門店はそれぞれが独立店舗で、商品を持ち出してコーディネートすることはできません。でも、実際に店舗間でも合わせてコーディネートしてみたいですよね。そこで、こんなサービスはいかがでしょう。お店にとってもお客様の行動がわかります。

店舗間コーディネート //

大型ショッピングセンターでこんなサービスを提供します。例えばA店のジャケットとB店のパンツをコーディネートしてみたい時。まずA店へ行って、「このジャケットを店舗間コーディネートしたいのですが…」
と言うと、A店の店員さんが、
「かしこまりました」
と言って、そのジャケットに専用タグを取り付けます。そして、(大型ショッピングセンターの)会員カードをレジ端末で読み取り、専用買い物カゴに入れて、手続き完了です。お客さんは、そのカゴを持ってB店へ向かいます。B店では、お目当てのパンツを手に取り、試着室でコーディネートして、気に入れば、B店でパンツを購入。A店のジャケットは専用カゴに入れて再び、A店へ

行き購入します。こんな店舗間コーディネートができれば、より買い物が楽しくなり、店舗間でも相乗効果が期待できます。これこそ、専門店が集合している強みが発揮されます。

店外へ持ち出す際に使う専用タグは、どのお店に行ったかがわかるようになっていたら、マーケティングデータとして活用できます。(利用客の購買行動がわかります) コーディネートは3店(3点)まででき、利用者は会員に限定します。万が一ショッピングセンター外へ持ち出そうとしたら、防犯ブザーがなります。

今、置き忘れ防止に専用センサーを鍵などにキーホルダーで付け、スマホで探知する商品も発売されていますので、技術的には難しくないと考えます。専門店が集合した大型ショッピングセンターこそ、お客さんが気軽に店舗間でコーディネートできれば、ネットショップにはない楽しみが膨らみます。意外な組み合わせが顕在化するかもしれませんよ。さらに、まとめて会計ができる総合レジがあると、より便利ですね。総合レジがあることで、「店舗間コーディネート」サービスのPRにもなります。コーディネートが楽しめるお店なら、滞在時間も長くなり、ワクワク感も高まります。

*-**

★アイデアコンセプト★

コーディネート・フリー

*-**



《**アイデアの解説**》 「遊べる」とまでは言いませんが、コーディネートが楽しめたらワクワクする買い物ができそうです。しかも単品販売よりまとめ買いを促せそうです。売り手には想像もつかないコーディネートがあったりしてマーケティングデータとしても興味深いサービスになります。「この腕時計には、こういう袖口のスーツが合う」「このパーカーには、このリュックがぴったり!」「この帽子には、この靴」など。映え系試着室でスマホ撮影してSNSにアップしたら、思わぬ販促につながるかも!

※本コラムの内容は作者の意見です。各人の責任においてご利用ください。本件により生じる損害・トラブル等について、一切責任は負いません。

※本コラムの無断転載を禁じます。